

ふるさと工房五日市に係るサウンディング型市場調査の結果概要の公表について

令和8年7月28日

「ふるさと工房五日市」の今後の活用方針を決定するため、民間事業者等の皆さまと直接対話等を行う「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施経過

日 程	内 容
令和8年4月 1日（水）	実施要領の公表
令和8年4月 1日（水）から 令和8年6月30日（火）まで	対話・現地見学の実施 ※2者参加

2 調査内容

（1）調査対象地

物件名	所在・敷地面積
ふるさと工房五日市	・所 在 地：あきる野市乙津671番地 ・敷地面積：5833.68㎡

（2）対話内容

- ・施設の活用手法等の提案について
- ・市場性の有無について
- ・施設活用に当たっての課題や条件、市に対する要望等について

3 結果概要

別紙のとおり

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、「ふるさと工房五日市」の今後の活用方針の検討を進めてまいります。

【担当部署】

商工観光部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係

ふるさと工房五日市に係るサウンディング型市場調査「対話」の結果概要

〈主なご意見やご提案など〉

活用方法等について
・ あきる野市及び周辺地域の木材資源と和紙文化を活用し、木材チップを繊維へ分解して楮を加えた手漉き和紙を紙糸化・織布することで、洋服や小物等、インテリア資材へ展開可能な新たな地域素材を生み出し、地域内外に向けて発信・販売する。 ・ レンタルルームとしての貸出し、布の切り売り、紙の活用事例の展示を行う。 ・ 軍道紙の技術を活用し、布の織りなどの体験を拡大する。 ・ 陶芸家へ場所を提供し、ガス窯及び電気釜のレンタルを実施する。 ・ 東京の森の玄関口である「ふるさと工房五日市」を主に、toB（企業向け）の各種体験 WS、企業研修、森林ツアーの拠点としての運用を行う。 ・ 裏山を活用したネイチャーガイドや各種林業体験、親子向けの森のツアー、教育プログラムを実施し、森側への導入拠点として活用する。 ・ 「Tokyo Paper」を活用した紙漉き体験を実施する。 ・ 森の端材から醸すアロマオイル蒸留体験を実施する。
市場性の有無について
・ 綿・麻・毛・化学繊維の原料供給が海外依存である中、国内資源を活用した代替素材への関心は今後高まる可能性が高いと考える。 ・ 地域素材としての独自性があり、地域産品としての展開が見込まれ、十分な市場性が認められる。また、見学・体験・展示との相性が良いため、観光や教育の面でも市場性がある。 ・ 外部商機として、企業は経営資源として自然資本との連携を求めている、「東京に一番近い森」と定義できるあきる野市小中野・戸倉エリアで提供ができ、市場性は非常に高い。
施設活用にあたっての課題や条件、市への要望
〈課題〉 ・ 来訪者及び地域住民に対して、どのような施設で何を行うのかを伝える広報が重要である。 ・ 伝統の継承と新しい展開の両立が重要であり、既存設備を活かしつつ多様な目的を想定した設備や空間デザインなど、一定の改修が必要である。 ・ 施設の老朽化（空調機器の不具合、水場の整備、天井の雨漏り等）の改善が必須である。 ・ 釜を活用する場合、火を扱う職人をどのように手配するのか。 〈要望〉 ・ 施設の広報、地域内外への情報発信、体験・展示事業の周知、学校教育と観光との連携などに関する支援がほしい。 ・ 裏山の土地及びその近隣の山林所有者との協議・調整を図り、作業道や歩道を整備することで「人がアクセスできる森」に変革する。
その他
・ 敷地も広く大型バスの駐車にも利用できる。